

平成14～16年度 教育研究業績書

奈良大学在職期間	1993年4月	～	現在に至る	氏名 高橋春成
最終学歴	広島大学大学院文学研究科博士課程後期地理学単位修得満期退学			
取得学位	博士（文学）（広島大学、論文博第2386号）			
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、地理科学学会、ヒトと動物の関係学会、野生生物保護学会、日本哺乳類学会、広島史学研究会、環境教育学会			
専門分野	生物地理学、文化地理学、環境地理学			
研究課題	人間と生き物の関わりの歴史・文化、地域づくりと野生動物との共存、外来種問題			

【研究上の特記事項】

文部科学省の科学研究費補助金（萌芽研究）（平成12年度～14年度）を受け、「地域の中でイノシシとの共生を構築する新しい試み」（研究代表者）を研究課題に調査・研究を行った。当研究は、農業被害が深刻なイノシシとの共生を、地域における被害防除と生物資源活用などの見地から検討することを目的としている。

農林水産省（国補事業）からの受託研究（平成15年度～18年度）で、「イノシシの生態解明と農作物被害防止技術の開発」（研究分担者）を研究課題に調査・研究を行った。当研究は、積雪をみる我国の中山間地域におけるイノシシの分布拡大の要因分析と農業被害への効果的な対応策の策定を具体化させることを目的としている。

【教育上の特記事項】

ゼミ活動では、「人間と生き物の関係の歴史・文化」、「地域づくりと野生動物との共存」、「外来種問題」などをテーマに、現地に出かけて、地域の人びとの参画も得て、実践的な調査・研究を行っている。野外では、自動撮影カメラ、GPS、発信機などの機材を導入し、調査対象の野生動物の捕獲なども行っている。このような取り組みの中で、成果を地域に還元したり、ボランティア活動を行ったりして、鳥獣害対策や外来種対策などに貢献できるような取り組みを実施している。【事例】神の使者とされる奈良公園のシカ、イノシシ・シカ・サルなどの農林業被害問題、シシ垣、オオクチバス（ブラックバス）、アライグマ、カミツキガメなどの外来種問題など

ゼミ活動の一環として、県外への研修も実施している。【事例】知床半島、小笠原諸島、奄美諸島、沖縄諸島、西表島、石垣島、四国など

講義においては、毛皮や頭骨といった生物標本などを活用し、五感で学べる学習を心がけ、また現場の様子が見えるパワーポイントやビデオなどを導入し、学生が講義内容を効果的に理解できるように工夫している。

【社会的活動】（主要なもの）

学会関係：地理科学学会評議員、ヒトと動物の関係学会評議員、広島史学研究会評議員、日本哺乳類学会移入種検討委員会委員、野生生物保護学会編集委員

審議会委員など：滋賀県環境審議会委員、滋賀県環境審議会自然環境部会長、滋賀県外来種問題検討委員会委員、滋賀県生きもの総合調査専門委員、奈良県自然環境保全審議会委員、奈良県自然環境保全審議会鳥獣部会長職務代理

講座など：平成16年度農作物鳥獣害防止研修会講師（農林水産省）（2004.10）、野生動物講演会講師（滋賀県獣医師会）（2004.11）、獣害対策研修会講師（滋賀県）2004.12）、鳥獣害対策シンポジウム講師（中国四国農政局）（2004.12）など。

【学内活動】（学内職歴を含む・主要なもの）

平成14年度地理学科主任

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>（著書）</p> <p>『滋賀の獣たち 人との共存を 考える』</p>	編著	2003年	サンライズ出版	滋賀県の野生動物、特に哺乳類と人々との歴史・民俗的な関わり、現代の獣害問題、外来種問題についてまとめた啓発書で、サンライズ出版の『淡海文庫シリーズ』の一冊として出版された。
<p>『亥歳生まれは、 大吉運の人』</p>	単著	2004年	三五館	亥年とイノシシに関するさまざまな知識、出来事、エピソードなどを興味深くまとめたものである。
<p>（学術論文）</p> <p>地域づくりとイノシシとの共存-大学と地域の連携</p>	単著	2003年	地理科学, 58-3, 157 ~ 162.	奈良大学の高橋研究室が進めている『大学と地域の連携を通じた野生動物との共存』の実践を、イノシシを事例に論じた。
<p>里山の地域づくりとイノシシとの共存.</p>	単著	2003年	奈良大学総合研究所所報, 11, 189 ~ 195.	里山づくりや里山再生が、イノシシなどの害獣化が進む動物の生息管理をしていく上で、重要な課題になることを指摘した。
<p>（その他）</p> <p>イノシシ条例.</p>	単著	2002年	地理, 47-7, 56 ~ 62.	神戸六甲で町中に出没するイノシシ対策としてのイノシシ条例に焦点をあて、人と野生動物の関わりのある方を検討した。
<p>香川県におけるイノシシの食性分析と行動圏分析.</p>	共著	2002年	（財）自然環境研究センター編『平成13年度香川県イノシシ生息調査報告書』香川県.	香川県の委託を受け、イノシシの食性と行動圏の分析を行い、被害対策のデータを得た。

<p>シシ垣探検（前編）・（後編）- 大学と地域の連携のもとに-</p>	<p>単著</p>	<p>2003年</p>	<p>地理, 48-3, 73 ~ 79 ; 48-4, 102 ~ 107.</p>	<p>シシ垣に注目した取り組みを紹介した。特に、奈良大学の高橋研究室と地域が連携してシシ垣の価値を掘り起こす内容となっている。</p>
<p>GPSテレメトリー技術の活用を中心としたイノシシの行動及び生態学的特性の解明.</p>	<p>単著</p>	<p>2004年</p>	<p>農林水産技術会議『イノシシの生態解明と農作物被害防止技術の開発』農林水産技術会議事務局</p>	<p>積雪をみる我国の中山間地域におけるイノシシの分布拡大の要因分析と農業被害への効果的な対応策の策定を、GPS調査などを導入し検討した。</p>